



初詣に備えて

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純 一

令和二年は、すべての人が新型コロナウイルスに翻弄された年といっても過言ではあ
りませんでした。年初から徐々に増え始めたウイルスによる感染は瞬く間に拡がり、不
要不急の外出の自粛、会社は在宅勤務、学校はオンライン授業へと、私たちの生活は一
変しました。こうした皆さんの努力で収束に向かったかのように見えた流行は、夏には
第二波が、そして現在は三波が押し寄せています。ようやくワクチン開発に明るい兆し
が見えてきたようですが、すべての人にワクチンが行き渡るまでには、まだ時間がかか
ると思います。

当山では早くから感染予防の対策をとり、春の国宝まつり、六月のあじさいまつり、秋
の菊まつり、もみじまつり等々、たくさん催しをやむなく中止としました。それ故、境
内は例年の賑わいがなく、静まりかえっております。しかし、そのような状況下でも、
ご参詣されるご信徒の方が絶えることは決してありませんでした。お不動さまに向つて
一心に手を合わせて祈るご信徒のお姿を目の当たりすると、私もまた皆さまに、どうか
お不動さまのご加護があらんことをと、お護摩の修法に一層集中いたしました。

さて、三十万の出入と言われる当山の初詣ですが、お護摩を修行する不動堂は七間ほ
どと小さく手狭で、堂内は大変密になりやすく、そこで、皆さまの安全と安心を考えて、
迎春期間中は堂内への立ち入りを遠慮いただき、堂外よりお詣りしていただく方法を
とり、それにとまない貴賓室を閉鎖することいたしました。

また、境内の混雑を緩和するため、例年設置しておりました御守りを授与する小屋
を取りやめて、不動堂前を広くとって参拝をしやすくし、替わりにほのほうちわ・御
守りの授与所は五重塔の地下へと移動することとし、休憩所として使用しないことと
しました。毎年皆さまが楽しみにしておられる除夜の鐘は、山内僧侶だけで撞くこと
になりました。ご参詣の皆さまには大変御迷惑をお掛けいたしますが、何卒御理解を
お願い致します。

なお、初詣の具体的な対策は今号の八頁・九頁に詳しく掲載しておりますので、是非一読の上、体調にご留意されまして、ご参詣くださるよう重ねてお願い
いたします。

参詣はマスク着用等、体調にご留意の上お越し下さい。

お不動さまの心——(一一一)—— 現代の世相から(71) 廣 澤 隆 之

長引く新型コロナウイルスの

蔓延のなかで、誰もが生活に大きな影響を蒙っています。飲食業や旅行業などへの甚大な影響はマスコミに報道されていますが、他のほとんどの業種でも深刻な状況にあるようです。政府や自治体は経済を回すことと感染抑制の両立を模索していますが、有効な手段がなかなか見つからないようです。健康と経済という生活の基盤が長期にわたって脅かされ、先行きの見通しがたない不安を誰もが感じているのが現状でしょう。以前と同じような生活はできなくなる予感をいだくのも無理からぬことです。

しかも少子化も相まって、これから経済規模が徐々に縮小すると予想され、未来に明るい希望をいだくことができないような気分も広まっています。未来に希望をもてないことは残念なことです。社会に羽ばたこうとする若者が望みを断ちきられ、子供たちが将来に夢を抱けなくなる社会は喜ばしいものではありません。経済的な豊かさが夢であり望みであるなら、未来に

明るい見通しはたないでしょう。

そこで私たちは、このように感染症への不安、経済の先行きが見通せない時代だからこそ、豊かさを求めることを考え直したらいかかと思えます。もはやほとんどの人が中流意識をもって生活できたかつての右肩上がりの経済的な繁栄を期待できないからこそ、新たな豊かさを求めることが求められているのかもしれない。

数年前に中学時代の友人と久しぶりに話し込んだ折のことです。戦後間もなく生まれた老人である私たちが久しぶりに会えば昔話に花が咲きます。私たちの子供の頃は戦後の混乱期であり、豊かさのかけらもないような生活でした。友人とその頃の貧しい生活ぶりを懐かしみながら、ふと気づきました。周囲の誰もが貧しかったあの頃、子供たちはさほど貧しさを気にせず遊び回っていたということです。家庭には電話機もテレビも、そして電化製品もない時代でした。今から思えばとても不便であったはずなのに、その生活があったりまあだったので不便とも思

えませんでした。しかしどうでしょう、今私たちはスマホもなくしたらとても不便を感じてしまいます。そして新幹線もなく、高速道路も使えなければ、大変な不便を感じます。

このように時代によって生活のレベルは違い、そこで感じる不便さも異なります。江戸時代には今から思えば旅行も大変だったはずですが、しかし徳川幕府が主要な街道の整備をおこなったので、それでも従来よりとても便利になったはずで、私が幼い頃、周囲は誰もが貧しかったので子供たちは貧しさを感じなかったのと同じように、江戸時代に生きた人びとも交通の便が悪いとは実感しなかつたでしょう。江戸時代でも、昔を知る人は街道の整備がされなかつた時代を振り返り、かつては大変だったが今は便利になったと実感したことでしょう。

そして一旦体験した快適さ、便利さなどは失うと大変な損失を感じます。しかも厄介なことに私たちは一度体験した贅沢な生活の程度を落とすことができない性分があります。豊かさを

失い、不便な生活を強いられることは耐え難いことです。しかかつて私たちの祖父母や父母はその厳しい現実を克服してきたのです。

大正時代から昭和初期の豊かな時代は一気に奈落の底に突き落とされ、町が焼け野原になった敗戦の現実に向かっていたのです。そして艱難辛苦に耐え、子供たちの養育に精力を注ぎ、豊かな生活を取り戻したのです。



文殊菩薩像 江戸時代

しかし豊かな生活は次第に余計な贅沢を追い求めるグロウバルリズムという欲望の資本主義の中で変節しました。現代の指導的な経済学者の多くが、経済活動の現状を無駄な生産によって歪んだ資本主義に変節していると忠告します。例えば原価の安い生産品に無駄な意匠をほどこし、購買欲を刺激するために莫大な広告宣伝費が使われ、それが製品の価格に上乗せされる

のですが、それが度を超えて過剰になっていきます。インターネットでの広告収入を基盤にする検索の会社や製品を運ぶ物流のシステムを構築した会社が世界を支配するほどの巨大企業になり、それらの企業の経済戦略に私たちは否応なく巻き込まれています。これらの巨大企業の特徴は、かつて道徳的に是とされた汗水流して働くという行為ではなく情報獲得に価値がおかれるようになりました。そして生産行為や生産品よりも、それを宣伝する会社や運ぶ会社が多くの利益を獲得するという社会になってしまいました。

このような社会のシステムのことで獲得した豊かさは私たちが素朴に身体感覚や心で培った豊かさとは異なっているといえるでしょう。かつて人気だった映画『三丁目の夕日』の中で私と同年代の子供たちが貧しさの中で実感していた豊かさをもう一度見つめなおしたいものです。感染症の蔓延によって不自由な生活を余儀なくされている今だからこそ、静かに自分を顧みたいものです。

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和二年八月一日～十月三十一日)

日野市 田 倉 美枝子
彦根市 西 澤 政 男
(二回)

幟旗奉納者芳名

(令和二年八月一日～十月三十一日)

世田谷区 株式会社カナコン
四本 調布市 高 橋 佐和子
小平市 清 水 良 浩
小平市 清 水 瑞 恵
あきる野市 南 孝 子
国立市 両 角 時 和
立川市 大 森 久美子
二本 日野市 安 川 武 雄
昭島市 大 野 仁
八王子市 木 村 茂 代
川崎市 佐 伯 翔
相模原市 水 希

大提灯奉納者芳名

(令和二年八月一日～十月三十一日)

中野区 黒 澤 功 記
日野市 下 田 孝 治
昭島市 高幡不動ござれ市

一、品名 マスク

奉納者

国立市 佐藤ふじ子(手作り)

一、品名 消毒薬プッシュボトル

奉納者

足踏みスタンド十台
八王子市 網代園 網代政子



献花のおすすめ

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待)致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

一、名 称 高幡山お花講

一、会 費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、花まつり、萬燈会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

一、名 称

一、参加資格

一、指 導

一、会 費

一、稽古日時

一、問い合わせ先

遍照講高幡山支部
どなたでもご参加いただけます
密厳流遍照講師範
一ヶ月 参千円
(但し、鈴・鉦などの道具は別費)
月二～三回 午前十時～十二時
高幡不動尊内遍照講高幡山支部
電話 ○四二(五九一)〇〇三二

山主の主な動静



9/8 芙蓉良英宗務総長就任挨拶
来山・9/11 日野七福神会・9/20 観
光協会正副理事長会議・9/22 彼
岸会法要・9/28 秋季大祭大般若
会・10/12 日野七福神会総会・10/21
マハヤナ協会総会・10/29 智山専
修学院生来山・11/6 宗治功労章
表彰式(本山)・11/7 警視庁鑑
識課慰霊法要・11/9 大本山高尾
山薬王院来山・11/17 新選組まつ
り実行委員会・11/18 正月警備会
議・11/20 萬燈会・11/23 花塚供養



僧侶のみでの萬燈会法要 11/20

高幡不動尊 フォトニュース



七五三着付直し〜装道きもの学院の皆さんのご奉仕 11/3



人数限定完全予約制で写経会を再開 10/21



今年も五重塔を彩りました〜ブルーライトアップ 11/11



再開されたござれ市 10/18



奥殿開館以来の大幅な展示替え9/29



萬燈会経木塔婆供養 11/20



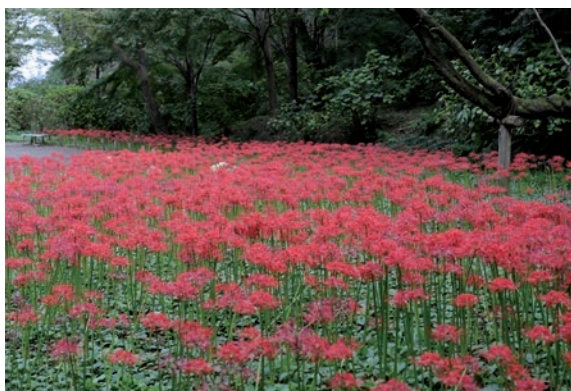
警視庁鑑識課法要 11/7



花塚講供養 11/23



もみじのライトアップ 11/18



曼珠沙華～かなり遅い満開となりました 10/9



菊の展示は不動堂前のみ 11/9

年末・正月・初不動・節分のご案内

◇十二月

○11日(金) 煤払い(午前9時)

堂塔や仏さまの一年の煤を山内僧侶達が払います。

○13日(日) フリーマーケット

○15日(火) お焚き上げ(午前9時)

○20日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(月) 月例写経会

○21日(月) 冬至星まつり(午後5時・於不動堂)

※星曼荼羅に来年の厄除・開運を祈る行事です。

※山内僧侶のみにて法要後、すべてのお札を郵送させていただきます。

※本年のうどん接待は中止させていただきます。

○24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後2時法要)

○28日(月) 納めの不動尊・歳の市

お焚き上げ(午前6時・9時)

古い護摩札・お守り・だるま等を納め、一年の無事

を感謝し、来年の安全を祈ります。

○31日(木) 大晦日・除夜の鐘供養

※本年の除夜の鐘は一般の方の参加はできません。

◇一月

○元旦・2日・3日

元朝祈願大護摩修行

元旦は午前0時、2日・3日は午前6時から大護摩

修行。尚2月11日までの護摩修行は特別の時間帯に

なっておりますのでご注意ください。

自動車の交通安全祈願

元旦は午前0時から午後6時まで、

2日・3日は午前6時から午後6時まで。

日野七福神めぐりのご案内

新春恒例となりました日野七福神めぐりを左記の通り実施致しますので皆様方お誘い合わせてご参詣下さい。

尚、ご朱印につきましては『日野七福神めぐり色紙』をおすすめ致します。

記

一、実施期間 令和三年一月一日～七日

二、ご朱印受付時間 午前九時～午後四時

三、七福神色紙 一枚 三〇〇円也(各寺院にあります)

一、ご朱印料 一印 三〇〇円也

※実施期間・時間にはくれぐれもご注意ください。

○布袋尊 宗印寺(平山)

京王線平山城址公園駅より徒歩五分

○大黒天 善生寺(豊田)

京王線南平駅より徒歩十五分

○寿老尊 延命寺(川辺堀之内)

京王線南平駅より徒歩二十分

○弁財天 高幡不動尊(高幡)

京王線・多摩都市モノレール

高幡不動駅より徒歩三～五分

○毘沙門天 安養寺(万願寺)

多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○福祿寿 石田寺(石田)

多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○恵比寿天 真照寺(落川)

京王線百草園駅より徒歩三分



◎冬至星まつり

当山では、毎年冬至の晩に不動明王様の御宝前にて来年の当星を供養し、皆様の無病息災と厄除開運をご祈願いたしております。どうぞお申込みいただき良い年をお迎え下さい。

一、星祭料

金一、〇〇〇円也

一、星祭日

十二月三十一日

午後五時

※本年は感染症拡大防止の為、僧侶のみで勤修し、お申込み頂いたお札は郵送させていただきます。

◎日野七福神めぐり色紙

七ヶ寺めぐると記念品をお渡します。さらに、七年分の色紙を集めると記念湯呑を贈呈。



○元旦～7日 日野七福神めぐりご朱印受付

○10日(日) フリーマーケット

○15日(金) 厄除牛王宝印々可〈於不動堂〉

弘法大師御作と伝わる秘印のお加持が受けられます。
息災延命・頭痛除けの靈験が知られています。

お焚き上げ〈午前6時・9時〉

○17日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(木) 初大師・月例写経会

○24日(日) 千体地藏尊月例法要〈午後2時30分 法話 山内僧侶〉

○26日(火) 文化財防火演習〈午前9時〉

○28日(木) 初不動大祭

だるま市 関東各地のだるま屋さんの威勢の良い掛け声が
飛び交い、十万人の人出で賑わいます。

○31日(日) 豆煎り式〈午前10時〉

◇二月

○2日(火) 節分豆撒式・だるま市

豆撒式は午前10時から5回。

どなたでも申込みにより年男として参加できます。
又節分会員になっていただき、お札、お供物を受け
することもできます。

○14日(日) フリーマーケット

○15日(月) 常楽会(涅槃会)〈午後1時・於大日堂〉

お釈迦様が涅槃に入られた日。お釈迦様を追慕し仏
恩に感謝する法要を行います。法話 立川市 正楽院 副住職 佐藤亮雅先生
演題「追善供養の大切さ」
「面影を思い浮べて偲ぶ日」

○15日(月) お焚き上げ〈午前6時・9時〉

○21日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(日) 月例写経会

○24日(水) 千体地藏尊月例法要〈午後2時法要 法話 山内僧侶〉

○28日(日) 月例祭(ご縁日)

節分年男のご案内

◇御本尊不動明王の御宝前に於て攘災招福立春大吉の大
護摩供を奉修します。年男としてご参列いただきたく
ご案内申し上げます。

一、日時 二月二日(火)

第一回 午前十時

第二回 午前十一時

第三回 午後一時

第四回 午後三時

第五回 午後四時

※各回、五十名限定、先
着申込順と致します。一、式場 不動堂及び
宝輪閣二階

一、冥加料 金三万円也

※絆は当山でお貸し致し
ます。

節分会々員のおすすめ

◇節分当日は早朝から会員の皆様の七難即滅・七福即生の大
護摩をご修行致しますので、奮ってご参加下さい。

一、会員には、特別会員(冥加料 一万円) があります。

会 員 (冥加料 三千元)

一、当山事務局にて節分願主名簿にご記入し、引替証をお受
け取り下さい。

一、立春大吉の護摩札と福豆、供物等をお授け致します。

(参加申込み 二月二日 午後四時まで)

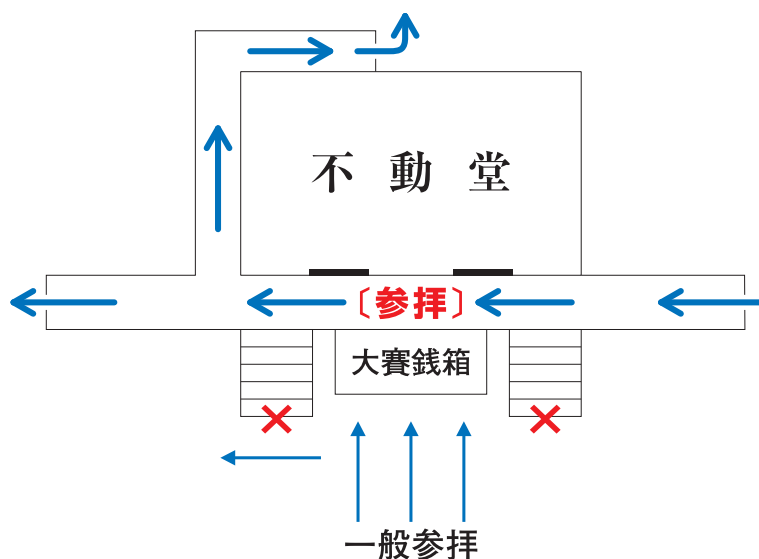


昨年の豆撒式

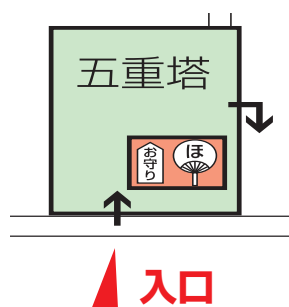
令和3年 正月期間お護摩祈禱の流れとお願い (1月1日～2月11日)

～ 新型コロナウイルス感染予防の対策として ～

- マスク着用等、感染予防し、体調ご留意の上お参り下さい。
- 会社等、団体の皆様はなるべく人数を絞ってお越し下さい。
- 不動堂（護摩堂）へは全ての方（参拝者・護摩申込者）がお入りに出来ません。
- 代表者の控室（貴賓室）は閉鎖しており、不動堂にお入りに出来ません。
- お護摩申込者のご参拝は、不動堂軒下の列にての参拝をお願い致します。



◎ ほのほうちわ授与
○ 厄除・交通安全のほのほうちわは元旦から節分までお頒けいたします。
一体 五〇〇円也



令和三年正月期間中のお守り・ほのほうちわ等は五重塔院大ホールにてお授けしております。

お守り・ほのほうちわ

全国名利貫主 揮毫入り本尊カレンダー

恒例の全国名利貫主揮毫入り本尊カレンダー「慈光」ができました。購入希望の方は事務局へお申し出下さい。

尚、当山貫主ご揮毫「大日之寂」と不動明王像は四月に掲載。

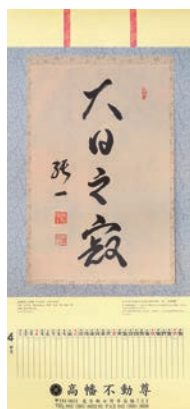
「大日之寂」

真言宗の根本仏たる大日如来の心の寂静、すなわち覺りの境地のこと。仏様は日々、私達の安寧を静かに見守ってくださいています。

一部 二、五〇〇円

※ご希望の方には郵送致します。

送料 五百円



令和三年の除夜の鐘

当山では新年を迎えるにあたり、毎年一月一日午前零時より鐘樓堂において、百八の除夜の鐘を皆様方にご協力いただき撞いております。

令和三年は一般の方の鐘撞きをご遠慮いただき、お寺側で百八撞かせていただきます。



八撞させていただきます。楽しみにしていた方々には大変申し訳ございませんが、感染防止策としてどうぞご理解をお願い致します。

御護摩札の受取場所について



十二月三十一日までに

お申込みいただきました元旦護摩はすべて元旦の一番護摩でご祈願致します。お札のお渡しは午前二時頃からです。

一〜三日 客殿二階洋間

四日以降 宝輪閣地階

当日受付のお札は

宝輪閣地階

大護摩札(三万円以上)は

宝輪閣一階



◎御朱印について

令和三年正月期間中（一月一日～二月十一日）は密集を避け、混雑緩和の為、御朱印を書き置きのもと致します。



◎牛王宝印可について

当山では年に一度、重要文化財の不動明王様と同じ木で作られた宝印をお授けし、皆様方の無病息災・息災延命をご祈願しております。毎年不動堂にてお授けしておりますが、令和三年は奥殿前にて行われます。どうぞご参加下さ



昨年の牛王宝印可

いますようご案内申し上げます。

一、日時 一月十五日（金）
午前十一時～十一時三十分
午後二時～二時三十分

◎三ヶ日参詣の

駐車場について

今年も左記の方々のご厚意により、三ヶ日の駐車場をお借りできましたのでご利用下さい。

※臨時駐車場ご提供の方々
東京南農協様・さわやか信用金庫様・食品のおおた様・日野市役所様等の皆様で
ございます。尚、食品のお
おた様は二日まで。

※駐車場には限りがございます。交通渋滞を防ぐ為、出来る限り京王線や多摩都市モノレール等のご利用をお願い致します。

◎初不動お稚児練

中止のお知らせ

毎年、初不動大祭に花を添えている稚児練供養を令和三年はコロナウイルス感染拡大防止の為、中止と致します。

四月二十八日の国宝まつりでは例年通りのお稚児を募集する予定となっておりますので、奮ってご参加をお願い申し上げます。

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友誘い合せてご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

一、巡 拝 毎月第一週の火・木・日曜日（五月は第二週）

一、会 費 四九、六〇〇円（七回分） 分割納入も可

（納経料・バス代・保険料等を含む）

一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内龍華会まで

電話 〇四二―五九一―〇〇三二番

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、延期・中止させていただく事があります。

「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」刊行のお知らせ

平成四年に出版された「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」を再編し、新冊子として刊行致します。

令和五年には弘法大師御生誕一二五〇年を迎えますのでお大師様の信仰を深め八十八ヶ所巡拝をされてはいかがでしょうか。

一部 一、〇〇〇円

※ご希望の方には郵送致します。

（送料三〇〇円）

〇四二―五九一―〇〇三二

龍華会まで



御護摩札郵送のご案内



大護摩札
金参萬円以上
送料 800円
長さ 58cm



中護摩札
金壹萬円
送料 800円
長さ 52cm



護摩札
金五千円
送料 600円
長さ 45cm



護摩札
金参千円
送料 400円
長さ 37cm



懷中札
金参千円
送料 300円
長さ 11cm



交通安全祈願札
金参千円
送料 300円
長さ 15.5cm

当山では御護摩札を郵送により授与する受付を行っています。

郵送ご希望の方は、必要事項（お名前、お願い事、生まれ年、郵送先住所、ご連絡先等）をご記入のうえ、郵便（葉書、封書等）、又はFAXでお申し込み下さい。御札が届きましたら、同封の払込取扱票で郵便局にてご送金下さい。

お申し込み・お問い合わせは高幡不動尊事務局まで

〒191-0031 東京都日野市高幡7 3 3 番地

高幡不動尊 護摩札郵送係

電話 042-591-0032 FAX 042-593-3038

※電話、メール、インターネット等でのお申し込みは受付していません。

御札を複数郵送希望の場合、送料の金額が変わります

「在宅写経」のすすめ

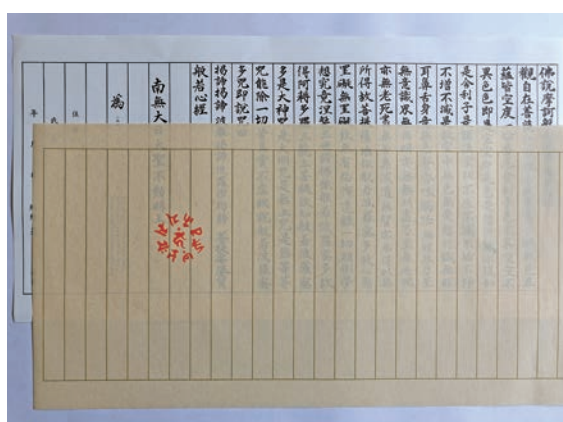
高幡不動尊では檀信徒の皆さまにご自宅出来る写経用紙をご用意しております。時節柄、ご自宅にいる機会が多い時に、ご自身の修養の為に写経を始められる事をおすすめします。

写経用紙 一巻 貳千円（送料 参百円）

写経用紙を郵送ご希望の方は、電話又はファックスで高幡不動尊事務局までご連絡下さい。写経用紙と一緒に払込取扱票を同封しますので、郵便振込でお支払い下さい。振込手数料は無料です。（複数巻ご希望の方は電話でご連絡下さい）

電話 〇四二（五九一）〇〇三二

ファックス 〇四二（五九三）三〇三八



※ファックスでお申し込みの方は、当山のホームページから申込書を印刷してご利用下さい。

※書き終わりました写経用紙は、当山にご返送下さい。写経用紙は当山のご本尊・不動明王様の御宝前にご奉納させていただきます。

山内消息

芙蓉宗務総長来山 (9/8)

九月八日、総本山智積院より芙蓉良英宗務総長がご来山されました。今回は新内局就任挨拶の為に来山されましたが、新型コロナウイルスの影響で内局の方々はご来山されず、芙蓉良英宗務総長が代表してのご挨拶となりました。

宝輪閣にて貫主と懇談された後、ソーシャルディスタンスを保ちながら昼食をとられ、その後は大本山高尾山薬王院へと向われました。

(佐竹智記)



総本山から芙蓉宗務総長来山

秋季大祭 (9/28)

九月二十八日の秋季大祭は毎年お花講の皆様総登嶺のもと大般若転読大護摩供が厳修されておりましたが、コロナ禍の今年は山内僧侶と護摩申込者のみの少人数で三密を避けて、世界平和・国家安穩・疫病退散・所願成就をお不動様にご祈願させていただきました。

(清水順記)

お花講議員安全祈願 (9/28)

三百三十二名のお花講議員の皆さまの身体安全を願い、九月二十八日午前五時の護摩にてお礼加持をご修行致しました。今年はコロナ禍の影響で総会が中止となりましたが、境内に荘厳された仏花は、命の尊さを伝え、心に安らぎを与えながら来年の皆さまの総登嶺をお待ちしております。

(小澤記)

写経会再開 (10/21)

新型コロナウイルス感染拡大の為、長らく中止していた写経会を、十月二十一日に再開いたしました。

感染予防として、午前と午後の二回に分けて、一回五十名限定とし、換気やソーシャルディスタンスを考慮して執り行いました。

まだ通常の写経会とはいきませんでしたが、これから徐々に元に戻る日を願っております。

(丸山幸記)

オンライン卓話

東京飛火野ロータリークラブ

会長 河野 和正

私共、東京飛火野ロータリークラブは高幡不動尊様信徒会館を例会場にお借りしているクラブです。

このコロナ禍の中、例会を開会することができず、活動の一案としてオンライン卓話を杉田貫主様をお願い申し上げたところ快いお返事を頂き

九月一日・十月六日にそれぞれ二名の若手僧侶に卓話をして頂きました。一人一人個性ある話し方と、日々の生活に役立つ内容で、有難く拝聴致しました。

今後共よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございます。

九月一日 卓話

松本 盛仁師「三密」

五十嵐慈恩師「十善戒」

十月六日 卓話

佐竹 智照師「四苦八苦」

森口 光洞師「不動明王」

奥殿 展示替えを終え再開

十月二十八日、一ヶ月間の

休館期間を経て当山の寺宝館「奥殿」の拝観が再開されました。この一ヶ月の間で展示室・展示ケース内の清掃・乾燥、調湿剤の設置、展示資料の準備・解説作業などが行われました。

今回は開館以来、長期間展示継続中の文化財を休ませることを主な目的とし、作業が進められました。

大規模な展示刷新となりました



大般若会にて疫病を退散

したが、展示室毎に「仏教」「歴史」「信仰」などのお寺らしい主題に沿った統一感を出すよう、また信仰の場と言う面も重視し、展示構成を策定するよう努めました。

解説・写真パネルなども作成し見応えのあるものが出来たと思います。是非足をお運び下さい。

(直井記)

疫病退散大護摩供毎座勤修

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々の快復と一刻も早い終息を祈念しております。



若さ溢れる修行僧

智山専修学院生来山 (10/29)
十月二十九日、京都にある総本山智積院にて懸命に修行に勤しんでいる令和二年度の智山専修学院生が来山しました。秋晴れという言葉がぴったりな爽やかな陽気の中の来山でした。今年はコロナ禍という事もあり、例年なら新幹線で東京まで来る所を京都からずっとバスでの行程とこのとでした。彼らにとつての久しぶりの外出の機会とは思いますが、バスの長旅での疲れもあったかと思えます。ですが、高幡での境内散策や護摩修行を経て良い気分転換になつていくればと思います。

彼らの学院生としての生活も残り半年を切っています。十七人全員で無事に乗り切つて全過程を修了される事を願つて止みません。(五十嵐記)

広々と七五三

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、七五三の御祈祷は五重塔塔院大ホールにてのご修行となりました。密集を避ける為の座席配置や検温、アルコール消毒のご協力などの予防対策をし、お子様の無病息災、健康長寿、開運満足を祈り致しました。自粛生活に負ける事なく、健やかな成長を期待しております。(森口記)

七五三の感想
八王子市 中谷和花菜
本堂での実施ではありませんでした。同じようにお経をあげていただき、ありがとうございました。

日野市 田中 雅也
段取りが良く、待ち時間も少なく、ストレスなくお参りができました。ありがとうございました。



今年は大ホールでの七五三

杉並区 内海早希子
コロナ禍にもかかわらず、流れるようにお祈りいただき有難うございました。本堂にて行われなかったことは少々残念でしたが、ありがたいご法話をいただき感謝しております。

杉田貫主、宗治功労章に(11/6)
十一月六日総本山智積院に於いて各種功労章の表彰式が行われました。

当山 杉田貫主は、宗派の行政に対する多大なる功績が認められ宗治功労章を受章され、功労章受章者の代表謝辞を述べられました。(松本記)

警視庁鑑識課法要 (11/7)

去る十一月七日午前十一時より大日堂に於いて、東京都内の横死者二一、六六九霊(令和元年十月一日〜令和二年九月三十日までの間)の慰霊法要が、当山貫主大導師のもと厳修されました。
当日は、警視庁鑑識課有志の皆様が参列、ご焼香をいただきご供養いたしました。

(伊大知記)

ブルーライトアップ(11/1〜17)

今年も十一月十四日の世界糖尿病デーに先立ち、十一月一日から十七日までの間、五重塔がブルーライトによって彩られました。

現在、日本の糖尿病患者は約一千万人と推定されていますが、自覚症状の少ない潜在患者は二千万人に達する程だそうです。

夜空を彩る青提灯を見る事で、皆様方々が現代病である糖尿病に対する考え方を改めて再認識して、予防に務めて頂ければ願います。

(速水記)

令和二年秋の勲章・褒章に

檀家世話人三名が受章

令和二年秋の勲章・褒章に当山檀家世話人の三名が受章されましたので、ご紹介いたします。

◎旭日双光章

東京都交通安全協会

副理事長

谷井 正剛様

◎旭日双光章

東京都間税会連合会

副会長

中澤 洋様

◎藍綬褒章

日野消防団 団長

小峯 敏夫様

三氏にはお祝い申し上げますとともに、更なるご活躍を祈念致します。



布施管長猊下より拝受

高幡いきもの曼荼羅 ⑬

高幡不動尊の境内は様々な種類や大きさの植物に満ち溢れています。特に樹木のような大きな植物は、私達の時間とは尺度が異なり、遙かにゆっくりと成長し、高さや年輪などに、その過程が現れます。また樹木は永い生涯を通して様々な生物の抛り所にもなって、世代を越えてその地域の生態系の土台を担っているのです。

高幡不動尊の裏山（愛宕山）には四国八十八ヶ所を模した巡拝路が整備されており、多くの方に親しまれています。巡拝路を歩いていると、根元近くに大きな傷跡のある松が目に残ります。これは太平洋戦争中に航空機用の燃料として松根油（松脂油）を採取した痕なのです。七十年前の戦争の爪痕の生々しさに驚かされますが、植物の生命力の強さにも驚嘆します。よく見ると昔の傷跡からは今でも松脂が滴り落ちていました。

戦争という行為によって、油脂を取るために傷をつけたことは、松の木にとって予期せぬ出来事であったに違いありません。植物と人間の生とが不幸な出会いをした瞬間の傷跡なのです。今でこそ高幡不動尊の境内・裏山は戦争とは無縁のように見えますが、無言のうちに戦争の恐ろしさ、愚かさを語り続けている松の木をこれからも静かに見守っていきたいものです。



松根油採取の赤松



滴り落ちる松脂



樹木は生を終えても多くの生命を養います

なにげなくつかっている仏教のことば——逆流（ぎゃくりゅう・ぎゃくろ）

逆流とは、水などの流れが普通とは異なり、逆の方向へと流れることをいい、また物事が本来の方向とは正反対の方向へと進むことをいいます。

車輪が回転し続けるように

生と死の流転を果てしなく繰り返すこと、これを輪廻（りんね）と称しています。仏教では、この生死輪廻の流れにしたがって苦しんでいることを順流（じゆんりゅう）とい

い、この輪廻の流れに逆らい、覚りへと向って仏道、覚りへ教えるのです。（小林靖典）

お不動さま教えて？

ご質問 先日、ようやくお不動さまにお参りする機会が得られ、お護摩に参加しました。その後、時間がありませんでしたので諸堂を参拝し、境内の奥にある本堂内では「鳴り龍」を体験いたしました。その際、格子戸越しにご本尊の大日如来を拝んだのですが、その両脇にお像が安置されておりまして、向って右のお像はどうかと判ったのですが、

左のお像は見当がつきませんでした。そこでこれは何のお像なのか、どうかお不動さま教えてください。お答え はい、お答えいたします。確かにご本尊さまに向って右は弘法大師さまのお像です。ご質問の左のお像は興教大師覚鑊上人で、袈裟の中で両手を結んだお姿をしています。そこで、覚鑊上人のご生涯をご紹介しますことにいたします。



興教大師像

来に自身が成るためであったといえます。十三歳になった弥千歳磨は、出生地の藤津荘が仁和寺の莊園であつた縁で、京に上り仁和寺の寛助僧正の室に入り、夢を叶えるべく仏道を歩み始めたのでした。そして十六歳になった弥千歳磨は、師の寛助にしたがって得度受戒し、「覚鑊」の法名を授かったのです。

（次号につづく）

覚鑊上人は、嘉保二年（一〇九五）六月十七日、肥前国藤津荘（現在の佐賀県鹿島市）に、莊園の警護を司る役職であつた父伊佐平次兼元と母橘氏の女の三男として生まれ、弥千歳磨と名づけられました。

した。現在、有明海を望むこの地には密厳山誕生院が建立されています。さて、幼き弥千歳磨は「生年八歳にして始めて道心を発し、大日を本尊と為し、真言を所帰と為す」（請授法書状）と、後に上人自身が述べられているように、わずか八歳にして仏道を歩まんと発心し、真言密教の教主である大日如来と教えに帰依を表明されています。出家の動機にはいくつかの伝承がありますが、いずれの伝承にも共通しているのは、この世で最も尊い存在は大日如来であることを教えられる、その大日如来に自身が成るためであったといえます。

皆様からのお便り

「お焚きあげのお願い」

西東京市 笠原 ヒロ

過日はお電話にて突然大変なわがままのお願いを申し上げましたが心よく御許可頂戴致しまして誠に有難うございました。

私は昭和六十年末、主人が心筋梗塞にて急死致しまして昭和六十一年四月よりご詠歌を菩提寺の奥様にすすめられはじめました。昭和六十二年からは多摩四国八十八ヶ所の竜華会に入会させて戴き、それから二十五年間休まず巡礼に毎年六ヶ月は通いました。

はじめは田無駅を六時頃のバスに乗り、三鷹駅にて中央線の青梅行にて日野駅で下車、そこより高幡不動駅行のバスに三・四十分乗り、浅川の大橋を渡る頃になると高幡山の五重塔が見えてホッとしました。い出が今も忘れられません。その後、モノレールが開通致しまして大変便利になり、

巡礼もたのしく出来ました。八十才を過ぎますと少しずつ「ひざ」が痛み出して、手術をする事になりました。巡礼を終らせて戴きましたが、「正月の御護摩」「あじさいと紅葉の季節のご詠歌講習会」「お花講」等には参加させて戴いて居りました。

「ひざ」が痛み出して、手術をする事になりました。巡礼を終らせて戴きましたが、「正月の御護摩」「あじさいと紅葉の季節のご詠歌講習会」「お花講」等には参加させて戴いて居りました。

巡礼もたのしく出来ました。八十才を過ぎますと少しずつ「ひざ」が痛み出して、手術をする事になりました。巡礼を終らせて戴きましたが、「正月の御護摩」「あじさいと紅葉の季節のご詠歌講習会」「お花講」等には参加させて戴いて居りました。



コウヤボウキ

九十三才まで長生き出来ると思つて居りませんでしたがお仏壇横に置いておりました巡礼の経本をどうしようか?と思案致しまして「おたきあげ」をお願い致した次第でござい

ございます。どうぞ、どうぞ宜しくお願い申し上げます。肩を痛めベンを取る事が不自由になり、大変乱筆にて申し訳

ございます。どうぞ、どうぞ宜しくお願い申し上げます。肩を痛めベンを取る事が不自由になり、大変乱筆にて申し訳

ございます。どうぞ、どうぞ宜しくお願い申し上げます。肩を痛めベンを取る事が不自由になり、大変乱筆にて申し訳

八王子市 川幡 俊一
本年の多摩八十八ヶ所巡拝は二月頃より発生した新型コロナウイルス感染症により三月に中止が決定し、誠に残念でなりません。
高幡不動尊にお参りに行くとき多勢の参拝者とお会いし、皆さんマスクを着用し各お堂を参拝して参りました。
六・七月にお参りした時は雨に濡れた紫陽花、蓮の花がきれいに咲き誇つておりました。花を見ながら散歩をして感染症の早期終息をお不動様と各お堂に祈願して参りました。
南無大師遍照金剛

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時（午後四時半までにお申込下さい）

○ご祈願料 金三千円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・十一時半・一時・三時
○土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

○但し二日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

○ご縁日（二十八日）

五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

※正月期間中（一月一日～二月十一日）は特別時間となります。詳しくはお問い合わせ下さい。

○御護摩料 金参千円也 金五千元也 金壹万円也

（大護摩）金参万円以上

ご縁日 毎月二十八日

フリーマーケット（リサイクル市）

毎月第二日曜日（雨天中止）

ござれ市（がらくた市）

毎月第三日曜日（雨天決行）

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観（月曜休館）

午前九時～午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円（月曜休館）

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

今年の七五三祈願はコロナウイルス感染予防対策として祈願の場所を五重塔々院ホールに変更して執り行ないました。また感染者が増加傾向ですのでご自愛ください。

本号は迎春期間の参拝方法等を中心に掲載しましたのでご参拝の際には充分な対策をしてお詣りくださいますようお願いいたします。

今年一年のご信助誠に有り難うございました。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別 格 本 山

高 幡 山 金 剛 寺

電 話 (042) 591-0032(代)

FAX (042) 593-3038

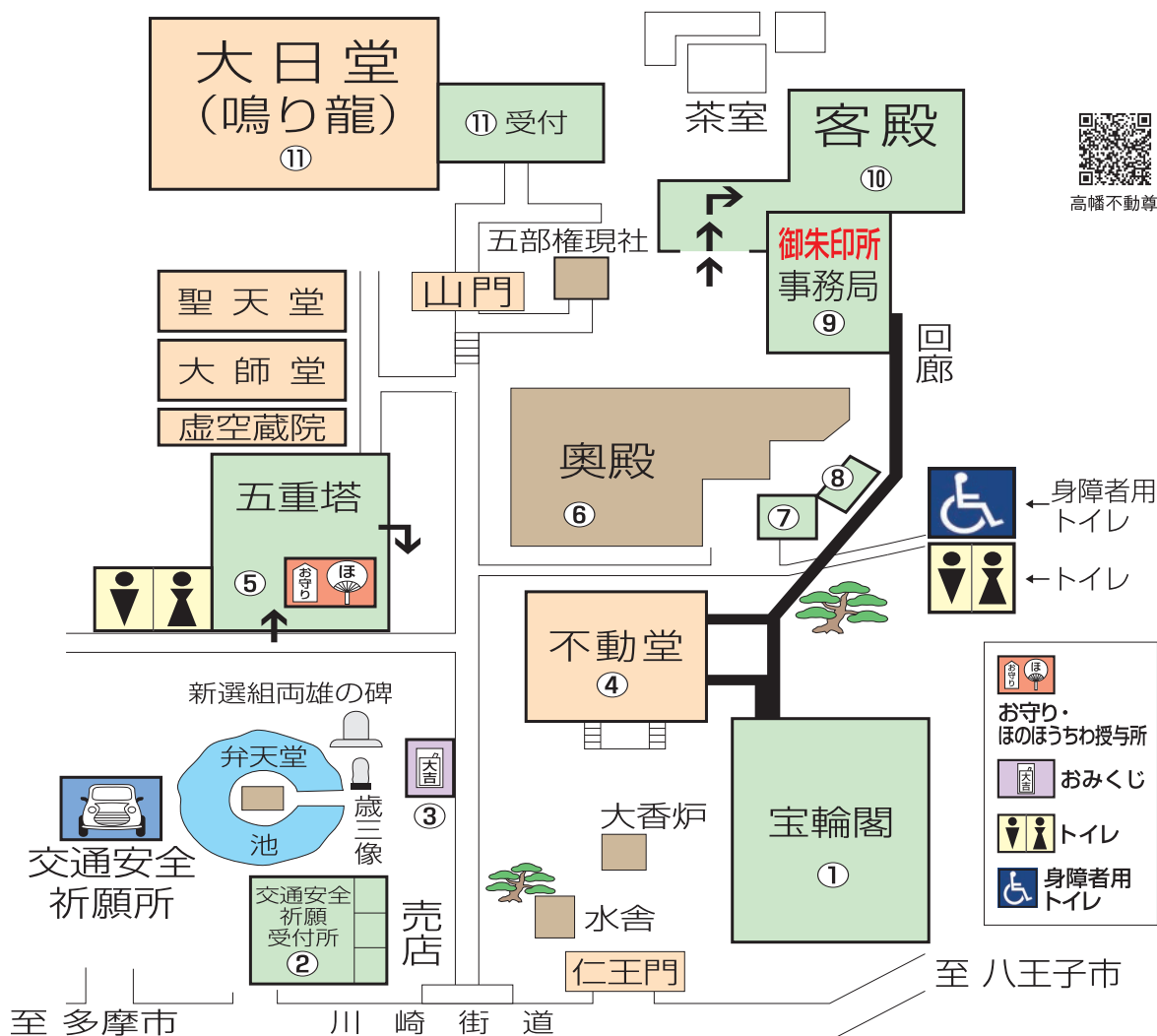
振 替 東京 00100-8-54134番

発行人 黒川 高德

編集人

年 4 回発行・再生紙使用

初詣境内御案内図



①宝輪閣

1階－護摩受付所
地階－護摩札お渡し所

②交通安全祈願受付所

③おみくじ

④不動堂…毎日護摩修行

お堂の中には入れません
お護摩お申込の方は、軒下にてお参り下さい

⑤五重塔々院(お守り・ほのほうちわ授与所)

釈迦三尊像参拝

⑥奥殿…寺宝展会場(指定文化財多数展示)

重文不動三尊像は奥殿正面から自由に参拝して頂けます

⑦上杉堂

(百ヶ日忌・水子供養等)

⑧納札堂

⑨事務局

(総受付・御朱印所)

⑩客殿二階

(予約元旦護摩お渡し所)

⑪大日堂…鳴り龍・八福神襖絵拝観

位牌堂(歳三位牌等多数)参拝

マスク着用等、感染予防のうえお参り下さい。

正月参拝の方は京王線・多摩モノレール・バスをご利用下さい。

高幡不動駅下車、徒歩3～5分で境内に入ります。